

潟上市議会だより

みんなのギカイ

～かたがみのミライをつくる広報誌～



夏休み直前の通学の様子

つなげよう
かたがみの未来へ!!

CONTENTS

- 2 - 3 特集 災害にそなえて
- 4 6月定例会
- 5 - 7 委員会の動き
- 8 - 11 一般質問・賛否一覧
- 12 提出された議案等・臨時会・編集後記

No.81

2025年6月定例会
【令和7年8月1日発行】

災害に備えて

近年は、地震、豪雨、台風など、多くの災害が発生しています。もしもの時、市民の皆様の命と暮らしを守るため、潟上市では、これまでの備えに加え、新たな防災設備を導入しました。市と市民が一体となって、災害に強いまちづくりを進めていきましょう。



1 防災訓練や備蓄



小型ポンプ操法大会の様子



防災備蓄庫(トレイクかたがみ)の様子
他に市役所、天王コミュニティ防災センター、飯田川出張所、旧東湖小学校に備蓄しています。



自主防災組織の活動の様子
防災備蓄品も活用しています。

水と食糧

毛布

衛生用品

など

2 豪雨・浸水からまちを守る！ 可搬式排水ポンプを導入

移動・設置ができ、大量の水を吸い上げて排出します。冠水した道路の早期復旧や、浸水による被害の軽減に役立ちます。



排水ポンプの能力は約30分でプール一杯分です。(※500㎡の場合)

3 断水時も安心！ 清潔な水を届ける！

生活に欠かせない水の確保は、災害時の大きな課題です。潟上市では災害の管路の破損に対応するため、浄水場から直接給水できるよう応急給水栓を備えています。



災害時でも清潔な水を迅速に供給します！



4 避難所の衛生環境を確保！ 自動ラップ式トイレを導入

避難所で特に課題となるのが、衛生環境の確保です。使用後に排泄物を自動的にビニールで密閉し、臭いや雑菌の拡散を防ぐことができます。水を使わないため、断水時でも利用可能です。

匂いも雑菌もシャットアウト！
衛生的で安心



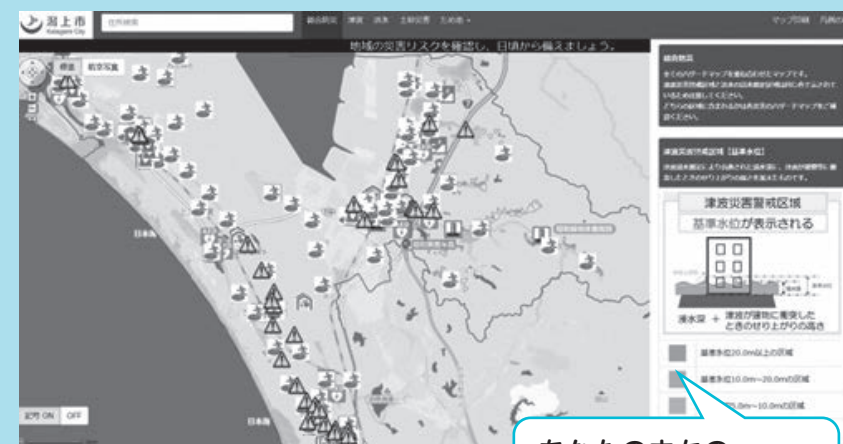
※イラストはイメージです。

5 家族でチェック！ ハザードマップで「もしも」に備えよう！



ハザードマップの 入手方法

市役所、各市民センターで配布しているほか、市ホームページからダウンロードが可能です。



あなたのまちの危険を知る第一歩！

使い方の
ポイント

1. 自宅の位置を確認！ あなたの住む場所の災害リスクを把握しましょう。
2. 避難場所を確認！ 最寄りの避難所や指定避難場所を事前にチェック。
3. 危険箇所を避けて避難！ 地図上の危険エリアには近づかないよう注意しましょう。

災害から選ぶ

ご確認されたい災害をお選びください

総合防災マップ

津波に関するマップ

洪水に関するマップ

土砂災害に関するマップ

ため池に関するマップ

災害に負けないまちづくり 防災力強化をさらに推し進めます！

一般会計補正予算

6億3,630万6千円

特別会計補正予算・企業会計補正予算 可決

●6月定例会に計上された補正予算の主なもの

全国大会等出場激励金

総文

60万円

スポーツ大会又は文化芸術大会等に出場する個人に対し、激励金を交付する。

体育施設改修工事

総文

4,400万円

施設の老朽化が著しい天王B & G海洋センタープールの改修を行う。

地域集会施設改修事業

社厚

2,455万7千円

地域集会施設の老朽化に対応するため改修等を行う。

小児ほかインフルエンザ

社厚

予防接種事業

390万9千円

インフルエンザ予防接種（任意接種）費用の助成額をこれまでの1人1回1,000円から2,000円に拡充する。

一時預かり利用者

社厚

負担軽減事業費補助金

99万4千円

保育所等で行う「一時預かり」1回当たりの利用者負担額を補助する。

定住・移住支援事業

産建

373万9千円

- ・お試し移住体験として、本市に来訪する際の交通費と市内宿泊施設利用費を補助する。
- ・過疎地域移住者住宅基礎杭打ち工事支援
- ・本市への移住を伴う県内企業への就職する学生等に補助する。

廃止石油坑井封鎖事業

産建

4,318万7千円

破産手続き後解散した事業者（封鎖義務者）に代わって市が坑井を封鎖する。

公園遊具整備事業

産建

1,128万5千円

子供たちが楽しさを共有し多様な関係性を学びながら成長していく環境を創出するため、誰もが楽しめるインクルーシブ遊具を設置する。

公園遊歩道改修事業

産建

960万8千円

公園利用者の安全を確保するため、転落防止柵の改修工事を行う。

●各会計の予算額

(単位：千円)

項 目		補 正 額	補正後の予算額
一 般 会 計 (第1号)		6,050	16,656,050
一 般 会 計 (第2号)		506,574	17,162,624
一 般 会 計 (第3号)		123,682	17,286,306
国 民 健 康 保 険 事 業 (第1号)		▲ 1,649	3,630,700
後 期 高 齢 者 医 療 (第1号)		▲ 595	445,936
介 護 保 険 事 業 (第1号)		4,051	3,965,516
水 道 事 業 (第 1 号)	収益的支出	287	668,092
下 水 道 事 業 (第 1 号)	収益的支出	▲ 924	1,022,342

委員会の動き

総務文教

総務文教常任委員会

	氏 名
委 員 長	鈴木 司
副 委 員 長	西 村 武
委 員	戸 田 俊 樹
委 員	堀 井 克 見
委 員	小 林 悟

条例

会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例



外国青年招致事業(ALT)による参加者の報酬や地域行事への参加状況は。



報酬額は配置年数によって決まっています。また、地域の行事にも積極的に参加して、地域の文化を理解しようとしていると報告を受けています。

陳情

「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

国の方向性が決まらない中では、賛成反対の表明もままならない。国の動向等を待つべき等の意見があり、全会一致で継続審査とすべきものと決しました。

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)

市制施行20周年記念事業業務委託料

349万円



記念事業の考え方は。



「潟上市」を広く発信するため、記念講演やのぼり旗・新聞広告などを考えています。

各委員会の審査状況を紹介します。

自主防災組織の育成支援費補助金

200万円



自主防災組織育成の状況と助成の内容は。



市内における自主防災組織率は、現在、48.15パーセント、人口カバー率では53.11パーセントです。新たに蒲沼自主防災組織に対し、資機材として発電機やヘルメット、避難した際の毛布、備品について助成するものです。

Z世代活躍事業

34万円



高校生、大学生を主としたZ世代活躍課の指導や予算規模については。



Z世代活躍課は、設立から1年が経過しました。社会教育だけでなく、若い人たちに市政に関心をもっていただきたい、まちづくりへ関与していただきたいとの思いで設立したものです。このほどは市の魅力を発信したいなどの意見もありました。潟上市を盛り上げていく仲間というスタンスで、活動を支援していきたいと考えています。

体育施設改修工事

4,400万円



天王B&G海洋センタープールは学校の授業でも使用しているが、改修工事期間中の対応は。



令和6年度に天王B & G海洋センタープールを使用しているのは、天王小学校、追分小学校、天王こども園です。期間中は、飯田川B & G海洋センターや他の小学校や園のプールを使用することで調整中です。

ハザードマップ作成業務委託料

420万2千円



馬踏川だけでなく豊川も作成対象にすべきでは。



県管理河川の減災協議会(県振興局)で近年水害が多発しているため、2級河川の追加も含まれたこともあり、馬踏川を対象として指定しました。市ではハザードマップの作成が義務化されており、この度作成するものです。

豊川についても協議会で追加の検討を行っており、早ければ今年度中に改めて指定されるということです。

各委員会の審査状況を紹介します。

社会厚生

社会厚生常任委員会	
	氏 名
委員長	菅 原 理恵子
副委員長	鎧 仁 志
委員	鈴 木 壮 二
委員	澤 井 昭二郎
委員	中 川 光 博
委員	菅 原 秀 雄

条例

潟上市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例(案)について

条例の関係部分の削除理由は。

独自で事務ができるよう条例を定めていましたが、番号法において法に準ずる事務として省令で定められたことから、独自利用事務の関係部分を削除しました。

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)

地域集会施設改修事業 2,455万7千円

改修目的は。

潟上市公共施設等総合管理計画の個別施設計画に基づき、施設の長寿命化を図る目的で計画的保全改修を行うものです。

耐用年数は。

出戸浜集会所、牛坂集会所、乱橋集会所の3施設ともに木造の建物で、耐用年数は24年です。

小児ほかインフルエンザ予防接種事業 390万9千円

拡充の理由は。

12歳以下の子どもは2回接種が推奨されており、子どもが2人いる家庭では4回接種、保護者も接種するとさらに負担感が増すとの声を受け、自己負担を軽減することで接種拡大につなげるためです。

接種実績は。

昨年度の実績では、小学校6年生までが約42パーセント、中学生・高校生・妊婦を含めた全体では4割程度となっています。

フルミストに関する周知方法は。

広報及びホームページに掲載するほか、母子手帳アプリ「母子モ」での通知、医療機関等へのポスター掲示による周知を予定しています。
※フルミストは鼻にスプレーするタイプのインフルエンザワクチンです。

廃棄物(ごみ)処理広域化事業 326万3千円

中継施設とはどのような施設か。

本市及び八郎湖周辺清掃事務組合構成市町村で可燃ごみの収集運搬の効率を高めるため、一旦パッカー車で中継施設に運んだごみを圧縮した上で、大型車で秋田市総合環境センターへ運搬するものです。また、建設場所を選定するため様々な前提条件や課題等をコンサルタントに委託し、調査します。

各委員会の審査状況を紹介します。

産業建設

産業建設常任委員会	
	氏 名
委員長	藤 原 仁 美
副委員長	藤 原 典 男
委員	石 井 和 人
委員	菅 原 龍太郎
委員	伊 勢 潤
委員	佐 藤 敏 雄

令和7年度 一般会計補正予算(第2号)

定住・移住支援事業費 379万9千円

お試し移住体験の事業スキームは。

職員が移住イベントに参加し、相談を受けた方を対象に本市へ来訪する際の補助金を活用できることを周知し、来訪者の意向に合わせて体験内容を組みます。

過疎地域移住者住宅基礎杭打ち工事支援補助金と移住関連補助金との関連は。

はじめての潟上暮らし応援助成金、過疎地域定住移住推進助成金が利用でき、今回の補助金を追加することで過疎地域への移住を促進させる目的があります。事業の進捗によっては市全域に広げることも検討する必要があります。

地域おこし協力隊についての取組は。

特産品開発について取り組んでもらう内容で募集していますが、それぞれの分野での活動や交流により地域の活性化につながるものと認識しています。

応募増に向けた策は。

今後取組強化として外部コンサルタントの活用も検討したいと考えています。

抗井内調査業務委託料 4,318万7千円

仮設道路の設置について入札不調の要因は。

抗井内調査を進めるために仮設道路が必要でしたが、昨年度の冬場の施工だったことや単価の上昇等が影響したものと考えており、設計内容の変更も含め、国と協議しながら市の負担が増えないように進め、年度内に調査を終えたいと考えています。

財源については。

国が4分の3、県が8分の1で、市の負担の8分の1は100パーセント交付税措置されるため、実質負担はありません。

公園遊具整備事業 1,128万5千円

インクルーシブ遊具導入の理由は。

障がいのある子どもが既存の公園で遊ぶとしても難しく、全国的に広がりつつある誰もが遊べるインクルーシブ遊具を導入することにしました。

鞍掛沼公園と同じ遊具だが、昭和中央児童館の利用率は。

具体的には把握していませんが、広場の中に児童館が経設されており、学校帰りの子どもたちが多く利用している状況を確認しています。

今後継続的な導入については。

具体的な導入先は決めていませんが、助成率が高いため、子どもの利用が多いと見込まれる公園を選定して設置する考えです。

公園遊歩道改修事業 960万8千円

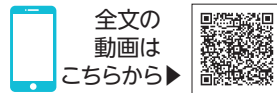
森や木とのふれあい空間整備事業の今後については。

令和5～9年度の5か年計画となっているため、少なくとも令和9年度までは続くと想定しており、県への要望が秋頃となるため、必要な箇所があれば要望します。



持続可能な潟上の創造について

藤原 仁美 議員



Q 市民アンケート結果を反映させる計画は。

A 市民調査は取組の評価をしてもらい結果を各種計画や施策の立案・推進の基礎資料とするため実施し、回答を集計・分析しホームページで公表しています。

Q 市民への働きかけと、自治会との関係性は。

A 市民と市の機関が互いに協力してまちづくりを進め、地域づくりの対等なパートナーとして自治会活動の支援に努めます。

Q 市の公式LINEで市民からの情報提供は。

A LINE通報システムの導入により場所や状況確認が可能で、危険箇所の早期発見や早期対応が図られ有用ですが、費用面等課題もあり他自治体の調査を行います。

第5次潟上市男女共同参画推進計画について

Q 「あきた とも家事」を広げるための推進体制については。

A 性別役割分担の解消に向けた研修や、男性の家事能力向上を目指した講座、啓発活動、学習の機会を提供するほか、家庭における個々を尊重した教育の推進に向け情報提供します。

Q 女性の視点や意見が反映のため、男女比の検討は。

A 審議会等に男女比を考慮し、定数に対する女性の割合が3割以上となるように配慮しています。

こどもまんなか社会について

Q 全天候型の遊べる施設を設ける考えは。

A 先進地や周辺市町村を参考に調査・研究が必要と考えます。

Q 人権教育と性の教育については。

A 情報が氾濫し犯罪に巻き込まれる危険性のある状況を生きる子どもたちに、性教育講座等指導のプログラムがあります。互いを尊重し合うことはまさに人権、違いを理解し合い認め合うという大切な教育を時期を失しないよう、小学校の低学年あたりから進めたいと感じています。

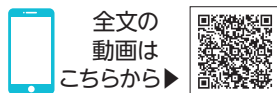
Q 切れ目のない支援については。

A ライフステージに応じた支援に関する情報提供のほか、小・中学生については家庭相談員と民生児童委員が訪問し連携します。



ケアマネジャーの現状と今後の対応について

藤原 典男 議員



Q 居宅介護支援事業所で働くケアマネジャーが不足しています。本市の実態、取り組みは。

A 本市で指定している介護保険サービス事業所では、現在、人員基準を満たしており介護専門員の不足はありませんが全国的にも今後要支援・要介護者数が増える見込みであり介護サービス利用者が増えることにより介護支援専門員をはじめ介護従事者が不足する傾向にあると捉えています。介護支援専門員の採用についての相談や紹介依頼はこれまでにありませんが、市としても採用などについて働きかけを行っていきます。本市ではケアマネジャーの資格取得はワーキングスキルアップ支援事業を行っており担当課と連携し助成事業の利用について周知します。

賃金を含め働く条件の改善のために地域ケア会議で意見聴取をしたうえで要望をまとめ介護労働懇談会等、介護労働機関、介護関係者と国や意見交換を行い国・県へ要望します。

航空防除の今後の方向性について

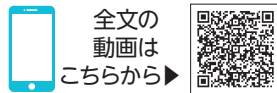
Q 本市での今後の取り組み、方向性は。

A 水稲については病虫害防除対策として行われ、航空により労働力の軽減、コストの低減、広域のかつ一斉に防除ができます。本市では天王地区農作物病虫害対策委員会と昭和飯田川地域病虫害防除協議会が有人、無人ヘリコプター、農業用ドローンを活用し行っていますが、有人・無人のヘリコプターは耐用年数による更新や修理、保険など維持管理にかかる費用が大きくなり近い将来、導入コストや維持管理費の低い農業用ドローンが主流になると捉えており、資格取得への助成は13人です。補助申請は随時受け付けています。農業用ドローン購入にも補助を行っており事業を活用していただけるよう広く周知を図ります。



石川理紀之助翁を宣揚する 機会の創出について

鈴木 司 議員



Q 石川理紀之助翁の宣揚と地域活性化について。

A 石川翁が本県において残された歴史的、文化的遺産は、潟上市にしか存在しないもので、潟上市民のみがその恩恵にあずかれるものです。このような知名度を生かして「潟上市と言えば石川理紀之助」と人々の口の端にのぼるほど石川翁が認知されるようになることが地域の活性化につながるものと考えており、今後とも宣揚に努めていきます。

Q 保育体制強化への取組状況について。

A 保育体制強化の取組については、市教育委員会から幼児教育の専門的な知識や経験を持つ幼児保小架け橋コーディネーターが、公立園や市内民間保育

事業所を訪問し、教育内容や指導方法、環境改善などについての助言や指導を通して、教育・保育の質の向上や幼保小接続を円滑にするための支援を行っています。

Q 追分地区に新しいコミュニティセンター建設の見解は。

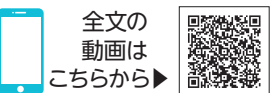
A 市民センター追分館（旧勤労青少年ホーム）は、昭和61年に整備され、地元で愛され、多くの方に利用されている施設となっています。

当施設は約40年が経過し、施設・設備の老朽化により修繕箇所も増えています。人口の社会増が続いている追分地区については、公共施設全体を俯瞰した整備計画が必要と考えています。市民センター追分館については、計画的な保全、補修を行いながら適正に管理していきます。



県道104号線の安全確保、 整備について

伊勢 潤 議員



Q 県への要望の進捗状況は。

A 県では危険な状況を把握しているものの、予算の制約により優先順位が高い順に整備しているため事業化されていません。引き続き歩行者の安全・安心の確保や道路の交通安全の向上を図るため、道路整備の早期事業化を要望します。

地域の公共交通機関リ・デザインと社会的課題の解決に向けたスクールバスの活用、導入について

Q 交通空白地域の解消も考慮した天王小学区のスクールバス導入と、大豊小学区スクールバスも含めた地域住民の移動手段としての活用の可能性は。

A 天王小学校では、東湖小学校との統合時の準備委員会での協議、アンケート調査の結果等を踏まえスクールバスは導入していません。大豊小学校スクールバスは、校外学習などで有効利用しており、また、料金徴収のための整備など課題も多いことから、現状では活用の予定はありません。

交通空白地域解消に向けた取組としては、「交通空白」解消・官民連携プラットフォームに入会しており、

今後、民間企業からの課題解決に向けた提案を受けるなど、交通空白地域の解消を目指します。

2050年ゼロカーボンシティ表明について

Q ゼロカーボンシティ表明の意向は。

A 本市では、「ゼロカーボンシティ」宣言はしていませんが、「第2次潟上市環境基本計画」でカーボンニュートラル実現を目指すことを示しています。今後も取組を推進し、市民・事業者への行動方針の周知に努め、脱炭素社会の実現に向けて取り組みます。

脱炭素に向けた水素サプライチェーンの導入について

Q 計画の策定、水素事業導入の方向性は。

A 水素は脱炭素社会の実現に向けた重要なエネルギー源と捉えています。また、水素サプライチェーンは温室効果ガスの削減と地域経済の活性化が期待できる仕組みですが、製造に係るコストの低減、安定供給網の確立などの課題もあり、計画の策定及び水素事業の導入について、国内の先行事例を参考に実現性について調査・研究します。



RS ウイルスワクチン等について

菅原 理恵子 議員

Q 健康寿命延伸のため、重要性が高まる肺炎対策については。

A 高齢者の肺炎はワクチン接種することで、重症な肺炎等の予防ができます。また感染予防対策として、手洗い、うがい、マスクの着用のほか、健康的な生活を心がけ、免疫力を高めることが重要と考えます。誤嚥性肺炎の予防には口腔機能の対策が有効とされているため、受診勧奨等の訪問指導を実施しています。

Q RSウイルス感染症に関する取組について、また公費助成の考えは。

A 現在、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会において、RSウイルスワクチンの定期接種化についての検討が進められています。また県内で今年度から助成をはじめた市町村もあることから、助成については、国の動向や他市町村の状況を注視していきます。

安心ノート登録制度について

Q 終活情報登録制度を用いることにより、思い描くエンディングを迎えられる仕組みづくりは。

A 一般的に本人の緊急連絡先、延命治療に関する希望、葬儀の生前契約などの情報を登録し、病院等からの情報紹介があった際に情報伝達する取

組です。制度の導入については、先行事例や実施状況等を調査・研究します。

安心して暮らし続けられる地域づくりについて

Q 地域支え合いの仕組みづくりに向けた支援体制構築の必要性和地域の取組を後押しするための支援策は。

A 社会福祉協議会に委託し、生活支援体制整備事業を取組推進しており、生活支援コーディネーターを中心に連携しながら、地域住民の生活ニーズの把握や地域支え合い活動を活性化できるよう取組を進めています。

不在者投票の手続きについて

Q 不在者投票用紙等のオンライン請求については。

A 令和3年から、国が運営する行政手続き窓口マイナポータル「びったりサービス」を活用することで、電子申請システムを整備していない場合でも、全ての地方公共団体において実施が可能となりました。本市においても、市民が等しく選挙権を行使できるよう投票環境の向上に努めます。



盆踊りの再開について

石井 和人 議員

Q グリーンランドまつりで行われていた盆踊りが中止となった経緯は。

A 潟上市盆踊り大会については、年々参加者数、来場者の減少が課題となっていました。そのため、令和元年度に盆踊り大会に関するアンケート調査を実施し、その結果、全市規模での開催には否定的な意見が多かったことを踏まえ、令和2年度から実施していません。その後、令和4年度の天王グリーンランドまつり実行委員会において開催を要望する意見が寄せられたため、再度アンケート調査を実施しました。その調査結果に基づき再度の検討を行った上で、今後は実施しないという結論を得ています。

A 時代の変化や世代ごとの価値観を踏まえ、盆踊りを再開させるために、関係者との前向きな協議を行えないか。

Q グリーンランドまつりにつきましては、ヤートセ選手権やお笑いショー、そして花火を特色と

して、それを目的に市内外から多くの方が訪れています。やはり観光や集客を目的としたイベントに再度盆踊りを入れるのは難しいと感じています。

Q 盆踊りが果たす伝統文化の意義をどう認識し、今後、市の文化継承政策へどのように位置づけていく考えか。

A 盆踊りは、地域コミュニティの形成や世代を超えた交流の場として貴重な役割を果たす地域の伝統的な行事と捉えており、地域が主体となり、市民が伝統的な行事を次世代へ伝える意識を持てるよう、環境の整備に努めます。地域で行う盆踊り行事には、地域の連携や世代間交流など大切なものがあると思います。市盆踊り大会の前身となる湖岸地区の盆踊り大会が、湖岸地区の6自治体によるコミュニティ事業で昨年復活しています。このような行事に皆さんで参加し、盆踊りの良さを感じて楽しむことが真の盆踊りの伝承につながっていると思います。

QRコードから一般質問全文の動画がご覧になれます。



鈴木市長の政治姿勢・大規模事業の計画等について

西村 武 議員

Q 市長就任2期目にあたり、新規事業・大規模事業等の計画は。

A 本市は人口減少が進んだ一部地域において過疎指定を受けており、当該地域移住者へ住宅新築時の支援の拡充や、各種過疎対策事業の継続的実施のほか、新たな人口減少対策についても検討を進めます。一方、追分地区においては、人口増加が顕著であり、比較的小規模な公共施設の点在と老朽化が課題で、近年の激甚化する大雨災害などの避難所となり得る施設や、特に増加が見られる子育て世帯からご利用いただける施設の必要性を強く感じています。平時には若者や高齢者を含む多世代の方々が集い交流できる新たな複合施設整備に向け、財政状況と向き合いながら、基本構想策定に着手します。

ふるさと納税と交流人口の拡大について

Q 2008年にスタートしたふるさと納税制度は、地域を変えるふるさと納税とも言われている。このふるさと納税を活用した交流人口対策も必要不可欠と思うが、ご所見は。

A 本市のふるさと納税の寄附額は、市長就任前の令和2年度と比較して約8.3倍の2億8,874万円となるなど、着実に成果が表れています。これまで本市が提供している交流人口拡大に寄与する返礼品として、市内の飲食店等で使用できる「ペイペイ商品券」がありますが、交流人口拡大に向け、他の自治体における取組事例も参考に取り組みます。

令和7年6月 定例会

各議員の賛否一覧（全会一致を除く）
（○）：賛成、（×）：反対、〔除〕：除斥、〔欠〕：欠席、〔議〕：議長

会派名・氏名 議案等	同 志 会							令 和 の 会				改革クラブ			会派に属さない				結 果
	会 長	副 会 長	幹 事 長					幹 事 長	副 会 長			代 表			日 本 共 産 党	公 明 党			
	西 村 武	鐘 仁 志	鈴 木 壮 二	小 林 悟	佐 藤 敏 雄	藤 原 仁 美	鈴 木 司	堀 井 克 見	菅 原 秀 雄	澤 井 昭 二 郎	石 井 和 人	中 川 光 博	戸 田 俊 樹	菅 原 龍 太 郎	藤 原 典 男	菅 原 理 恵 子	伊 勢 潤	佐 藤 珠 樹	
陳 情 第 1 号	○	○	○	議	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	継続 審査

陳情第1号：「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書



6月定例会に提出された議案等

予算案

原案可決

- ・一般会計補正予算(第2号)
- ・国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・介護保険事業特別会計補正予算(第1号)
- ・水道事業会計補正予算(第1号)
- ・下水道事業会計補正予算(第1号)
- ・一般会計補正予算(第3号)

報告

- ・令和6年度一般会計予算の繰越明許費繰越計算書
- ・令和6年度水道事業会計予算の繰越費繰越計算書
- ・令和6年度水道事業会計予算の繰越計算書
- ・令和6年度下水道事業会計予算の繰越計算書
- ・専決処分の報告(損害賠償の額を定める)
- ・専決処分の報告(損害賠償の額を定める)

承認

承認

- ・専決処分の報告(一般会計補正予算第1号)

条例案

原案可決

- ・行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部の改正する条例
- ・会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

単項案

原案可決

財産の取得について

- ・可搬式排水ポンプシステム
- ・学校LED照明等
- ・中学校校務用PC等

人事案

同意

- ・教育委員会委員
佐藤 有加 氏 (天王字追分)
- ・監査委員
鎌田 利謙 氏 (天王字天王)

選挙管理委員

選出

- 三浦 一秋 氏(飯田川下鮎川) 三浦 美咲 氏(天王字追分)
- 児玉 正生 氏(天王字江川) 石井 律子 氏(昭和豊川)

選挙管理委員補充員

選出

- 小黒 和彦 氏(昭和乱橋) 上村 誠 氏(天王字二田)
- 渋谷 一春 氏(天王字追分西) 菊地 蝶子 氏(飯田川和田妹川)

陳情

継続審議

- ・「選択的夫婦別姓制度の導入を求める意見書」採択に関する陳情書

第2回 臨時会

専決処分

承認

令和6年度一般会計補正予算(第9号)

3億198万6千円

- ・基金積立金
- ・スポーツによる地域活性化プロジェクト応援金

市税条例及び入湯税条例の一部を改正する条例

- ・特定親族特別控除の創設

国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- ・課税限度額と軽減判定所得金額の引上げ

議案

原案可決

後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例

- ・コロナ後遺症の傷病手当金の支給申請事務の廃止

工事請負契約の締結

1億5,477万円

- ・鞍掛沼公園多目的広場人工芝改修工事

人事案

同意

副市長の選任

鎌田 雅人 氏(飯田川和田妹川)

市議会の傍聴について

潟上市議会では、定例会・臨時会を傍聴することができます。日程等の詳細については、ホームページをご覧ください。

なお、議会の様子はインターネット中継(ライブ配信)や録画でご覧になれますのでご利用ください。

QRコードからも録画で
議会をご覧になれます。



編集後記

緑の田園風景が広がり、海は青く光っています。夏休み中の子どもたちも元気に過ごしていることと思います。是非、今しかできない体験をしてほしいものです。

広報編集委員会では、今号の特集について事前にウェブ上で意見を出し合うデジタル対応と、足を運び取材にあたるアナログ対応の使い分けをするなどわずかながら進歩を見せています。

市政について議会の視点でどのように伝えるべきか、感心を寄せてもらうにはどうすべきか、手に取ってもらうには何が必要か、考えることを止めずに取り組みたいと思います。

(広報編集委員 藤原 仁美)